

## 平成21年度事業報告書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

### I. 事業の概況

当財団は、昨年3月に旧公益法人のトップ集団として公益認定を受け、昨年4月1日から新たな公益財団法人としてスタートしました。

当事業年度は、新公益財団法人としての初年度にあたり、新公益法人法が定める「民間による公益の増進、公益目的事業の適正な実施」を図るべく、また公益認定を受ける際の様々な認定要件を着実に実施すべく、事業に邁進してまいりました。とくに、認定申請書に掲げた公益目的事業については、確実な実行に努め、概ね遂行することができました。

以下に、各事業の実施状況を報告いたします。

### II. 事業別の状況

#### 1. スポーツチャレンジ研究・体験助成

スポーツ科学・スポーツ医学・予防医学等の研究およびスポーツにかかわる技能・体力の向上、体験等への支援・助成を、研究11名、体験14名に対し行いました。

助成対象者からは、四半期報告に加え、7月から10月にわたり中間報告を受けました。また、1年間のチャレンジの成果発表をスポーツチャレンジウィーク(※1)にて行い、最終日には修了式を実施しました。発表者のうち将来を期待させる際立った成果を残した4団体に「特別チャレンジャー賞」を贈呈しました。

なお、平成22年度助成は研究84件、体験46件の応募の中から研究11件、体験8件を決定しました。

※1 当年度のスポーツチャレンジウィークは、平成22年3月下旬、静岡県掛川市のスポーツ施設「ヤマハリゾートつま恋」にて、5日間にわたり、助成対象者及び奨学金受給者による成果発表と修了式等を行い、相互の交流と連携を促進しました。

#### 2. 国際スポーツ奨学金給与

スポーツにかかわる学問研究を目的とした留学生への「海外留学生奨学金」及び「外国人留学生奨学金」の奨学金給与を、5名に対し行いました。

なお、平成22年度奨学金給与は、海外留学生奨学金6名、外国人留学生奨学金14名の応募の中から、外国人留学生奨学金2名を決定しました。

#### 3. スポーツの普及・振興に功績のあった個人・団体の表彰

スポーツの振興及びレベル向上に貢献した個人・団体を表彰する「ヤマハ発動機スポーツチャレンジ賞」では、マスコミや各種競技団体を通じて候補者を公募し、17名の推薦候補の中から選考委員会審査の結果、2名を選出、スポーツチャレンジウィーク最終日に表彰式を実施しました。この表彰は、「縁の下の力持ち」に焦点を当てた表彰として注目され、「チャレンジの尊さ」の訴求・浸透を深めることができました。

①「スポーツチャレンジ賞功労賞」は元・(財)日本アンチ・ドーピング機構事務局長の塚越克己氏を表彰しました。

②「スポーツチャレンジ賞奨励賞」はアスレティック・トレーナーの増田雄一氏を表彰しました。

#### 4. ヨットスクールの運営及び水辺の風景画コンテスト等の開催

##### (1) ジュニアヨットスクールの運営

YMFSジュニアヨットスクール葉山では、スクール体制の充実と、より魅力的かつ安全なスクール運営体制を築く為、コーチ4名を新たに加えました。また、既存の育成カリキュラムに「水辺体験教育」を追加する為の検討を行い、平成22年度実施に向けて保護者・コーチへの説明と理解を図りました。

##### (2) 「水辺の風景画コンテスト」の実施

当年度の絵画コンテストは、7月から9月に作品を募集し、47都道府県の保育園、幼稚園、小学校、絵画教室等より5,166点が寄せられ、予選会で542点の入選作品の選出を行い、本選会にて文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞の4大臣賞を含む入賞作品33作品を決定しました。また、大臣賞受賞者に対しては、11月に在籍校において表彰式を実施しました。

#### 5. スポーツ指導者への教育指導活動、及び指導者の派遣、スポーツ教材の提供

##### (1) セーリング指導者の海外派遣

YMFSジュニアヨットスクール葉山における、指導カリキュラムのレベルアップや水辺体験教育導入に向け、セーリング先進国のニュージーランドへ指導者2名を派遣し、情報収集と視察を行いました。

##### (2) スポーツ教材の提供

4月から5月にかけて提供先を公募し、全国より588団体(前年度191団体)の応募がありました。6月に抽選を行い、提供先50団体を決定し、サッカーボール等のスポーツ教材総額約180万円の提供を行いました。

また、提供先より報告のあった教材の活用事例を、当財団ホームページに掲載し、情報提供を行いました。

#### 6. スポーツの普及・振興のための教材の販売、及びセーリング競技会等の開催

(1) スポーツ振興のための書籍・視聴覚教材の販売を行い、①ディンギーセーリング DVD 89本 ②ディンギーセーリングテキスト 42冊を販売しました。

(2) 「YMFSセーリング・チャレンジカップ in 浜名湖」を3月に開催しました。全国各地から16クラブ48名が参加し熱戦が繰り広げられました。また、新たな試みとして選手達に大会期間中の個人目標と課題を明確にする目標管理シートを配布・記入させることで、指導者とのコミュニケーション向上を図りました。これにより参加者のスキルアップが図られ、指導者から、これまでにない質の高い大会として、評価を受けました。

#### 7. 財団活動広報と情報提供

##### (1) スポーツ普及・振興のためのパネル展示

国際ボートショー(3月横浜開催)、海岸清掃活動「Love The Earth」(9月御前崎開催)の会場にて、財団活動と「水辺の風景画コンテスト」の紹介を行いました。

##### (2) スポーツ普及・振興のための情報提供

財団の諸活動、チャレンジャーレポートやコラム、成果発表資料、スポーツ関連情報等のホームページ掲載により、情報の提供・発信の強化を図り、閲覧者数、閲覧ページ数が順調に増加しました。